

(様式第 1 号団体申請用)

※申請者登録番号	
----------	--

秋田県特別栽培農産物認証申請書（団体用）

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒

申請者 住 所

電 話 番 号
団 体 名
代 表 者 名

※自署または電子データで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 9 条第 1 項の規定により、関係書類を添えて申請します。

1. 栽培責任者及び確認責任者の概要

(1) 栽培責任者

認証基準に基づく適切な生産・出荷を行うよう栽培管理する者またはその指導を行う者

氏名		所属名(会社名)	
住所又は所在地	〒		
電話番号		経験年数	農業経験年数 年 指導経験年数 年

(2) 確認責任者

認証基準による栽培管理またはその指導が適切に行われていることを確認する者

氏名 ※栽培責任者以外		所属名(会社名)	
住所又は所在地	〒		
電話番号		経験年数	農業経験年数 年 指導経験年数 年

2. その他

(1) 事務局担当者

認証通知や認証票等の受け取り及び認証機関からの問い合わせ対応を担当する者

担当者所属名称	
担 当 者 名 (役職名・氏名)	
住 所 又 は 所 在 地	〒
電 話 / F A X ※日中つながる電話番号	
e-mail ア ド レ ス	

(2) 申請情報の公開

特別栽培農産物の P R 等のため、申請者に関する情報（申請者名、栽培農産物、認証区分等）の公開について(該当項目をチェック☑して下さい。)

☐ 同意する ☐ 同意しない

〔添付資料〕

- ① 申請は場一覧（様式第 1 号－ 2）
- ② 生産者一覧（様式第 1 号－ 3）
- ③ 栽培計画書（様式第 2 号、様式第 2 号別添）
- ④ 出荷・販売計画書（様式第 3 号）
- ⑤ は場概要書（様式第 4 号）
- ⑤ 自らが生産した特別栽培米を精米し特別栽培米精米として、出荷・販売する場合は同時申請できますので、以下の様式を併せて添付して下さい。
 - ・秋田県特別栽培農産物精米認証申請書（様式第16号）
 - ・秋田県特別栽培農産物精米責任者及び精米確認者届（様式第17号）
 - ・精米出荷・販売計画書（様式第18号）
 - ・精米施設概要書（様式第19号）
 - ・農産物認証票交付申請書（様式第11号）

(別紙様式第1号-2)
[申請ほ場一覧]

[illegible]

(別紙様式第1号-2)
 [申請ほ場一覧]

※生産者 番 号	生産会社名	生産者名	農産 物名	作型	注2 認 証 区 分	※ほ 場 登録番号	ほ場の所在地				栽培 面積(a)
							市町村	大字	字	地番	

(注意事項)

注1) ※は、登録済の場合に記入して下さい。

注2) 認証区分は、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減
 ③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

〔生産者一覽〕

(注意事項)

注) ※は、登録済の場合に記入して下さい。

(様式第2号)

※申請者登録番号

秋田県特別栽培農産物栽培計画書（生産者別）

生産者			
生産者番号		氏名	

生産ほ場 (所在地) (ほ場番号)	項 目	内 容	作業内容（予定）		使 用 資 材（予 定）					特別栽培 期間 前作の収穫後 から収穫まで
					施肥・土づくり等			病虫害・雑草防除		
			作業名	時期	資 材 名	注1 使用量	使用時期	農 薬 名	使用時期	
	農産物名									年 月 から
	作 型									年 月 か月間
	注4 認 証 区 分									予想収量
										全収穫量
	栽培面積	a								10a当収量
航空防除実施 地域に該当か	看板設置 箇所数	箇所								
☐ 注3 該当 ☐ 非該当	種苗入手前の農薬処理 ☐ なし ☐ あり									全出荷量
10a当り 苗箱 使用枚数 (水稻のみ)	※ありの場合農薬成分名記入 ・ ・ ・									10a出荷量
枚										

注1）使用量の欄は、10aあたりの資材使用量を記入して下さい。育苗箱に入れる肥料等は1箱あたりの使用量を分かるように記入して下さい。

注2）農産物、作型及び認証区分が異なる場合は、別葉として下さい。

注3）航空（有人ヘリ）防除実施地域に該当する場合は、検査時に対象ほ場が除外されていることを確認します。

注4）認証区分 ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減

③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

(様式第2号別添) ～ 使用予定資材の内容

1. 農 薬 (前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までに使用予定の農薬)

農薬商品名・剤型	購 入 先 (TEL)	製 造 会 社 名 (TEL)	成分名	%	使用量 (10a当り)	使用時期	注使用目的
使用農薬数	種類	認証基準で定める成分回数	回以内	使用成分回数	計	回	

注) 使用目的は、殺虫・殺菌・除草等と記入する

2. 肥料、土壌改良資材及び堆肥等 (前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までに使用予定の資材)

資 材 名	購 入 先 (TEL)	製 造 会 社 名 (TEL)	成 分 %	使 用 量 /10a	使用時期	窒素成分量 (kg/10a)	うち化学合成 窒素成分量 (kg/10a)
			N P K				
			その他				
			N P K				
			その他				
			N P K				
			その他				
			N P K				
			その他				
			N P K				
			その他				
認証基準で定める化学合成窒素量				4	kg/10a以内	化学合成窒素成分量	計
							3.0
							kg/10a

※ 全体の窒素の割合と、そのうちの化学合成窒素の割合が分かる資料 (チラシやカタログのコピーなど) を添付して下さい。

3. その他資材（前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までに使用予定の資材）

資 材 名	購 入 先 (TEL)	製 造 会 社 名 (TEL)	成 分 %	使 用 量 /10a	使用時期	使用目的

注） 1 及び 2 以外の目的で使用するもの。

4. 自家製造資材の原料・製造方法

資材名	原料名	原料使用量	製造方法	使 用 量 /10a	使用時期	使用目的

秋田県特別栽培農産物 出荷・販売計画書

1. 対象作物及び出荷期間等

申請者名		農産物名		作 型	
注 ³ 認証 区分		栽培面積	a	収穫期間	年 月 ～ 年 月
全収穫量	k g	出荷期間	年 月 ～ 年 月	全出荷量	k g
注 ⁴ 販 売 区 分					

2. 出荷・販売計画

出荷 予定 月日	出荷・販売先 (会社名・店名、 住所、TEL)	形態別出荷・販売数量(予定)				出 荷・ 販 売 量 (①～④)の 合計(kg)	注 ² 認証票 使用 予定枚数
		バラ① (kg)	束② (kg)	袋③ (kg)	箱④ (kg)		
合 計							

注1) 農産物、作型、認証区分が異なる場合は、別葉として下さい。

注2) 認証票使用予定枚数の欄は、規格及びシールまたは印刷の別が分かるよう記入して下さい。

注3) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減

③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

注4) 販売区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

①直販 ②スーパー・小売 ③卸売 ④JA

注3)申請者登録番号	
申請者名	
栽培責任者名	

ほ場概要書（ほ場の内容及び位置図）

生産者番号		生産者名			
注3)ほ場登録番号					
所在地					
農作物名		注6)認証区分		栽培期間	年 月 ～ 年 月

位置図(注1.2.5.6に従って記入すること)

注 1) ほ場登録番号と所在地の地番が分かるように記入して下さい。

注 2) 当該ほ場が周辺の影響を受けない状況が分かるよう、隣接農用地、区画、農道、用水、排水路等を詳細に記入して下さい。

注 3) ※は登録済みの場合に記入して下さい。登録後に看板として使用する場合に記入してください。

注 4) 看板の大きさはA 4 版以上とし、ほ場に掲示して下さい。

注 5) 同一区域内のほ場を 1 枚の看板にまとめる場合、位置図に、現在地・ほ場登録番号・地番・認証区分を記入して下さい。

注 6) 認証区分は次のうち該当する区分の番号を記入し、位置図内にも記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

※申請者登録番号	
----------	--

秋田県特別栽培農産物認証票交付申請書

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒

申請者 住 所
電 話 番 号
氏 名

※自筆またはメールで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程により、次のとおり認証票の交付を申請します。

農産物名 (作型)	注) 認証 区分	交付申請する認証票の規格及び数量等 (枚)					
		認証票形態	シール(シート単位)			米袋印刷 予定枚数	計
		規格 (サイズ)	シートあ たり枚数	シート数	枚数		
		大 (幅10cm)	6 枚	×	=		
		中 (幅5cm)	20 枚	×	=		
		小 (幅2.5cm)	50 枚	×	=		
		大 (幅10cm)	6 枚	×	=		
		中 (幅5cm)	20 枚	×	=		
		小 (幅2.5cm)	50 枚	×	=		
		大 (幅10cm)	6 枚	×	=		
		中 (幅5cm)	20 枚	×	=		
		小 (幅2.5cm)	50 枚	×	=		

注) 認証区分は、次のうち該当する番号を記入して下さい。
①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減
③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

秋田県特別栽培農産物精米認証申請書

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒

申請者 住 所

電 話 番 号

団 体 名

氏 名

※自署または電子データで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 16 条第 1 項の規定により、関係書類を添えて申請します。

1. 精米業者

特別栽培農産物の認証を受けた玄米を用いた精米の認証を受けようとする者(申請者と同じ)

精米業者名			
住所又は所在地	〒	電話番号	

2. 精米施設

特別栽培農産物の認証を受けた玄米を精米する場所(委託する場合は委託先)

精米施設名				
所 在 地	〒	精米規模 ・能力		馬力
精米施設名				
所 在 地	〒	精米規模 ・能力		馬力

3. 特別栽培農産物(玄米)仕入れ予定

注2 認証 区分	注1 仕入先		予定買入量	仕入予定時期
	登録番号	認証申請者名		
			kg	
			kg	
			kg	

注 1) 自らが生産した特別栽培米のみを精米する場合も仕入先に記入して下さい。

注 2) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料 5 割以上減
 ③節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬 5 割以上減・化学肥料 5 割以上減

4. 精米出荷・販売予定数量

認証区分	精米販売予定数量	精米開始予定日	精米終了予定日

[添付資料]

- ① 精米責任者及び精米確認者届（様式第17号）
- ② 精米出荷・販売計画書（様式第18号）
- ③ 精米施設概要書（様式第19号）

秋田県特別栽培農産物精米責任者及び精米確認者届

令和 年 月 日

公益社団法人秋田県農業公社 理事長 様

〒

申請者 住 所

電 話 番 号

団 体 名

氏 名

※自署または電子データで提出の場合は押印不要です。

秋田県特別栽培農産物認証業務規程第 16 条第 1 項の規定により、特別栽培農産物の精米責任者及び精米確認者を届出します。

1. 精米責任者

原料である玄米を精米し、数量の記録、包装、表示を行う者

ふりがな		所属・役職名	
氏 名			
住所又は所在地	〒		
電話番号		経験年数	精米経験年数 年
			指導経験年数 年

2. 精米確認責任者

精米責任者による精米等記録を確認する者、または必要な指導を行う者

ふりがな		所属・役職名	
氏 名			
住所又は所在地	〒		
電話番号		経験年数	精米経験年数 年
			指導経験年数 年

1. 出荷・販売計画

[illegible]

注3) 認証区分には、次のうち該当する番号を記入して下さい。

- ①農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料不使用 ②農薬/節減対象農薬不使用・化学肥料5割以上減
③節減対象農薬5割以上減・化学肥料不使用 ④節減対象農薬5割以上減・化学肥料5割以上減

精 米 施 設 概 要 書

1. 精米施設

精米施設名			所在地	
精米機（馬力等）	包装設備		その他	

2. 精米施設内配置図

注 配置図	
----------------------	--

注）精米施設への搬入から乾燥調製、精米、包装まで使用される機械の配置を記入してください。